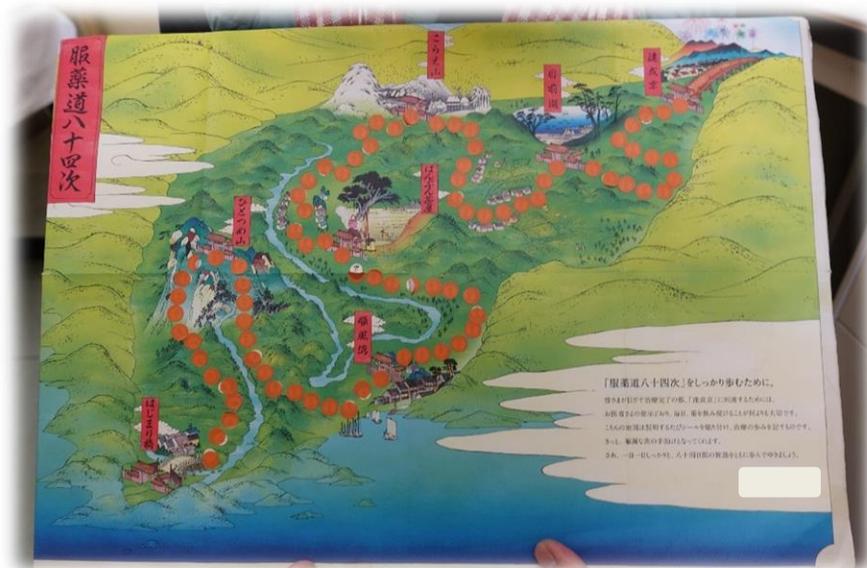


平成29年 日本肝臓学会主催 「肝がん撲滅 市民公開講座」

日 時：平成29年7月08日 14:00～16:00

会 場：ホルトホール大分 大ホール

プログラム



大分大学医学部附属病院
肝疾患相談センター



やさしい肝臓病のお話

日時 平成29年7月8日(土)14:00~16:00

場所 ホルトホール大分1階「大ホール」

大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555

入場無料

聴講者には大分県糖尿病療養指導士会による無料血糖値測定を行います

一般講演司会 織部 淳哉 先生 (大分大学医学部附属病院 消化器内科)

■講演1 「環境問題から肥満予防を考える」

大分大学医学部附属病院 内分泌・糖尿病内科 後藤 孔郎 先生(15分)

■講演2 「あなたの肝臓は大丈夫? ~食事面からのケアについて~」

大分大学医学部附属病院 栄養管理室 利根 哲子 先生(15分)

■講演3 「看護師から伝授! 肝臓病&糖尿病の黄色信号のサイン」

大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 脇 幸子 先生(15分)

■講演4 「手遅れ肝癌をなくすために たたけ! 肝炎 大分県での取り組み」

大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田 浩一 先生(15分)

特別講演

司会 清家 正隆 先生 (大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター)

■講師 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 消化器内科

医長 中牟田 誠 先生(40分)

「元気に長生きするためには肝臓が大事!

—肝炎治療の最新情報とメタボ時代を生き抜くためのコツ—

総合討論

司会 清家 正隆

パネリスト

中牟田 誠・後藤 孔郎・本田 浩一・利根 哲子・脇 幸子 先生

共催・日本肝臓学会 大分大学附属病院(肝疾患診療連携拠点病院)

後援・大分県 大分市 大分県医師会 大分県歯科医師会 大分県看護協会 大分合同新聞社

※会場の駐車場は数に限りがありますので、ご来場の際は徒歩または電車/バス等の公共交通機関をご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

◇ 講演内容 ◇

「環境問題から肥満予防を考える」

大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座

後藤 孔郎

略歴

- 1995年 大分医科大学医学部 卒業
- 2000年 米国オハイオ州 シンシナティ大学肥満研究センター 留学
- 2005年 大分大学大学院医学系研究科博士課程 修了
- 2012年 大分大学医学部 総合内科学第一講座 助教
- 2013年 大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科 助教
- 2016年 大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科 講師

賞罰

- 2012年 第50回日本糖尿病学会 九州支部賞
第2回 中塚医学賞（大分大学医学部研究表彰）
- 2013年 第63回日本体質医学界研究奨励賞
- 2014年 第87回日本内分泌学会研究奨励賞、第35回日本肥満学会学術奨励賞
- 2015年 第21回日本膵臓病研究財団膵臓病研究奨励賞

講演内容

私たちは、日々さまざまな環境の変化のもとで生活をしています。具体的には、異常気象や温暖化といった地球環境、またハロウィンやプレミアムフライデーといった年中行事やコンビニエンスストアの台頭といった社会環境、さらには家庭内での食生活といった家庭環境などがあげられます。これらに共通していることは、全て体重増加をもたらしやすくする環境であるということです。したがって、本能のまま時の流れに身をまかしていると、肥満に伴う生活主看病の発症へと突き進んでいく可能性が高いことは、容易に想像できると思います。今回、このような環境と肥満との関連について検証し、私たちが常日頃から体重を意識することの重要性を説明したいと考えています。

「あなたの肝臓は大丈夫？ ～食事面からのケアについて～」

大分大学医学部附属病院 臨床栄養管理室
利根 哲子

大分大学医学部附属病院臨床栄養管理室主任栄養士

講演内容

私たちが食べた物に含まれる“栄養素”は、そのままの形では身体に利用されません。

肝臓の働きによって、身体に必要な物質に作り変えられます。例えば、卵や豆腐、肉や魚などに含まれるたんぱく質はアミノ酸に分解され、肝臓に送り届けられ、人間の身体に合ったたんぱく質に合成され、必要な部位に運ばれます。そのため牛肉や豚肉を食べ続けても私たちの筋肉は牛や豚の筋肉と同じにはなりません。このような働きを『代謝』と言います。また、私たちは“栄養素”以外にアルコールや食品添加物・薬品などさまざまな有害物質も口にします。その有害物質を分解し、無害化する働きも肝臓はしており、それを『解毒』と言います。他にも、使われなくて余った“ブドウ糖”をグリコーゲンという形に変えて『貯蔵』したり、脂質の消化吸収を助ける『胆汁の生成』をしたり、肝臓は食べ物・栄養と大きく関わっている臓器なのです。

私たちは毎日、完璧な食事を必要な分だけ摂っているわけではありません。特に、暑くなるこれからの季節は、食欲が落ちたり、冷たい物ばかり食べたりして、食事が偏りがちです。肝臓は『沈黙の臓器』と言われるくらい中々症状は出ませんが、夏バテして食事が偏ると、肝臓の働きも落ち、健康を損ないかねません。肝臓の働きを想像して、一緒に食事を見直してみませんか？

「看護師から伝授！」

肝臓病&糖尿病の黄色信号のサイン」

大分大学看護学科実践看護学講座

大分県糖尿病療養指導士会 会長 脇 幸子

略歴

大分大学医学部看護学科 准教授
大分県糖尿病療養指導士会 会長
大分県糖尿病協会 役員

講演内容

沈黙の臓器と呼ばれる肝臓は、お酒の飲み過ぎだけでなく、食生活や過労・心労なども大きく影響します。そして、じっと我慢強く働き続けるので、症状が出てはじめて、肝臓を酷使していたことに気づくのです。

そこで、日常生活の中でのSOSのサイン！例えば、疲れやすい、眠い、肥満、イライラする、腰が痛い、などなど、気のせいかな？と済ませるのでなく、生活習慣を見直して肝臓を労ってあげることが大切です。

また、1年に1回は受けている健診でわかるSOSのサイン！「肝臓の細胞の状態を表す」ASTやALT、「お酒好きの方は必見」 γ -GTP、「肝臓に脂肪がたまっているサイン」BMI（体格指数）、「関係が深い糖尿病を表す」血糖値やHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）などです。黄色信号の数値が出たら、見逃したり、放っておかず、再検査を受けて、生活改善をすることが大切です。

あなどるべからず！肥満、肝臓、血糖値、生活習慣！です。

肝炎ウイルス検査		
年	月	日
HBs	(+ -)	
抗原		
HCV	(+ -)	
抗体		
大分大学 肝疾患相談センター		
097-586-5504		

「手遅れ肝癌をなくすために たたけ！肝炎

大分県での取り組み」

大分大学医学部消化器内科 助教 本田浩一

略歴

H5年3月 島根医科大学卒業

H25年4月 大分大学医学部消化器内科学講座助教

日本肝臓学会専門医・指導医

日本消化器病学会専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本消化器病学会九州支部例会評議員

日本肝臓学会西部会評議員

講演内容

B型・C型慢性肝炎ウイルスに現在感染している者は、全国で合計300-370万人と推計されており、国内最大級の感染症です。近年、B型肝炎、C型肝炎に対する抗ウイルス療法が大きく進歩し、ほとんどの肝炎患者さんを治すことが可能になりました。肝炎をきちんと治療すると肝がんになる可能性が大きく減少しますが、自分が肝炎であることを知らない、あるいは知っていても病院に行かないなどの理由で、気が付いた時には手遅れ肝癌になってしまっているという患者さんを時々見かけます。このような手遅れ肝がんをなくすためには多くの県民や肝炎患者さんにウイルス性肝炎やその治療について知ってもらうことが大切と考えています。これまでに肝炎の検査を受けたことがない人は、1回は検診を受けること（受検）、検診で肝炎と診断された方はきちんと病院を受診すること（受診）、治療を要すると判断され場合に適切な治療を行うこと（受療）がとても大事なポイントです。これら3つのポイントについて効果的なアプローチを行っていくために、私たちは、現在さまざまな活動を行っています。肝臓病の市民公開講座は毎年県内各地で施行しています。また、昨年は大分県内の全ての診療所にC型肝炎治療患者説明用「たたけ！肝炎」リーフレットを配付しました。ご自身の肝炎検査結果について認識してもらうため、肝炎シールの配布も進めています。さらに県内各地の肝炎コーディネーターもいろいろな活動を行っています。この講演では肝がん撲滅をめざした、大分県での取り組みについてお話ししたいと思います。

◇ 特別講演 ◇

「元気に長生きするためには肝臓が大事！ －肝炎治療の最新情報とメタボ時代を生き抜くためのコツ－」

独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 消化器内科 医長

中牟田 誠

略歴

1984年 九州大学医学部卒業
1990年 九州大学大学院修了、医学博士取得
1993年 米国ペーラー医科大学研究員
1996年 九州大学医学部助手
2001年 九州大学医学部講師
2006年 国立病院機構九州医療センター消化器内科医長・科長
2010年 同上 肝臓センター部長

日本肝臓学会 専門医・指導医・評議員
日本消化器病学会 専門医・指導医・評議員
日本内科学会 専門医・指導医



講演内容

今、肝炎治療は大きな転換期を迎えています。多くの方を苦しめてきたC型肝炎は、今、副作用の強かったインターフェロンなしの、経口抗ウイルス剤を12週間飲むだけで95%以上の患者さんが、ウイルスを体から排除（著効）できる時代となりました。現在、7種類のお薬が使用されていますが、今後、さらにいくつかの新薬が登場し、8週間の治療でほぼ100%の著効が得られるようになり、まさにC型肝炎撲滅の時代となります。

一方、メタボ時代となり、ウイルス肝炎と同じように肝硬変や肝臓癌に進行する脂肪肝（脂肪性肝炎：NASH）が、現在、大きな問題となっています。C型肝炎に匹敵する150万人程度の方がNASHと推測されています。ウイルス肝炎とは違い、特効薬はいまのところなく、食事・運動療法による減量が基本となり、またそれに勝る治療はありません。

今回は、C型肝炎の最新治療と、脂肪肝（メタボ）の病態と治療についてお話したいと思います。

電話・FAXにてご相談ください。

電話・FAX : 097-586-5504



相談窓口にて内容を確認



折り返し肝臓専門医がご連絡



お問合せ先

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
国立大学法人大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

TEL / FAX : **097-586-5504**

Mail : **kansikkan@oita-u.ac.jp**

7月24日から7月30日まで肝臓週間

7月28日が日本(世界)肝炎デー

「見ざる聞かざる言わざる」三猿パフォーマンスを行なっています。

□ 協賛企業 □

ギリアド・サイエンシズ株式会社

アッヴィ合同会社

MSD 株式会社

ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

大塚製薬株式会社

大日本住友製薬株式会社

アステラス製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

塩野義製薬株式会社

第一三共株式会社

グラクソスミスクライン株式会社

中外製薬株式会社

武田薬品株式会社

E A ファーマ株式会社

(順不同)

◇ 協賛企業は公開講座の主旨を理解し本会の運営をサポートしています

あなたは肝炎血液検査はしていますか？

肝炎シール

肝炎ウイルス検査

年 月 日

HBs
抗原 (+ -)

HCV
抗体 (+ -)

大分大学 肝疾患相談センター
097-586-5504

肝炎シールを利用しよう
一生に1回肝炎ウイルス血液検査をしましょう